

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-49		施設整備事業(汚水)					
	□支援部門							
主管課	浄化センター	関連課	下水道河川課					
分野名	下水道・河川							
目標 (目標値)	耐用年数を超えた汚水中継ポンプ場の再構築を図る							
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考			
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人				
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯				
	事業の対象者数	79,669人	79,217人	78,812人				
運営資源 状 況	決算値(千円)	352,500	397,418	832,892	浄化センター職員11人のうち、管財課兼務職員分0.2人を差引いた10.8人から各事業毎に人員配置を行っています。			
	(国・県)	172,584	200,695	419,356				
	(負担金等)		169,761	371,300				
	(一般財源)	179,916	26,962	42,236				
	人員配置数	1.3	1.5	2.0				
	人件費(千円)	10,286	12,850	17,135				
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	362,786	410,268	850,027	対象者1人当たりの経費は、 世帯数＝事業の対象者数として算出			
	市民1人当りの経費(円)	2,047	2,315	4,798				
	対象者1人当りの経費(円)	4,554	5,179	12,026				
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒							
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)	
		目標値						
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値						

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)				⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止						
施設整備事業 (汚水)	352,500千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	耐用年数を超えた中部ポンプ場の改築工事及び七里ガ浜ポンプ場第2他3ポンプ場の再構築基本設計(長寿命化計画)業務													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	各ポンプ場の老朽化対策を講じる。 維持管理経費の削減を行う。		
課題解決のための取組	改築工事に際し処理効率の良い最新機種を採用して維持管理経費の削減を図る。また、平成24年度に実施した「七里ガ浜ポンプ場第2他3ポンプ場の再構築基本設計(長寿命化計画)」に基づく改築工事を順次進める。	取組の結果	■解決(一部) ■未解決(一部)
未解決の課題	施設の良好な維持管理を図り、平成27年度までに全ポンプ場の改築更新を完了する。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切＝○ 要改善＝△ (評価の視点を参照) ➡	①効率性	○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止		※□事業完了
		②妥当性	○		ポンプ場の機械・電気設備の改築更新について、国庫補助事業の活用を図りながら、計画的に実施する。	↓	課長等名
		③有効性	○			A	浄化センター所長
		④公平性	○				原 秀広

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
施設整備事業 (污水)	主な個別事業	542 污水中継ポンプ場改築工事委託料	373,000	342,600	○	○	○	○
		542 污水中継ポンプ場実施設計委託料	20,000	9,900	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							